



# 下水道公社だより

2019年冬季号（第66号）

## 『設立30周年記念フォーラム』を開催しました

平成30年4月、おかげさまで設立30周年を迎えたことを記念して、設立30周年記念フォーラムを開催しました。県内下水道事業が抱える課題の共有と、今後の方向性等についてのヒントを探ることを目的として、有識者による基調講演やパネルディスカッションを行い、160名もの皆様にご出席いただき、盛大かつ有意義なフォーラムとすることができました。業務多忙の中、ご出席いただきました皆様、フォーラム開催にご協力いただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。

日時 平成30年11月19日（月） 13:00～16:10  
場所 ホテル福島グリーンパレス 2F 瑞光の間  
参加者 160名（国、県、市町村、公社OB役職員、報道関係）



### 【第1部 基調講演】

テーマ 『下水道事業の持続的運営に向けて』

講師 豆谷 竜太郎 氏（日本下水道事業団ソリューション推進室長）

### 【第2部 パネルディスカッション】

テーマ 『持続可能な下水道経営について』

<コーディネーター> 相澤 広志 氏（福島県土木部都市担当次長）

<パネリスト> 菊地 智 氏（二本松市下水道課長）

廣田 敬二 氏（南相馬市下水道課長）

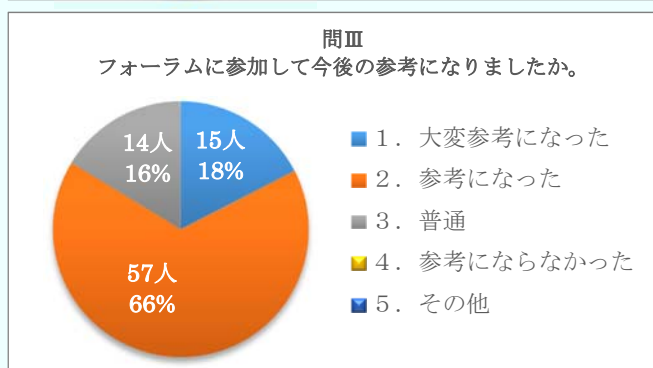
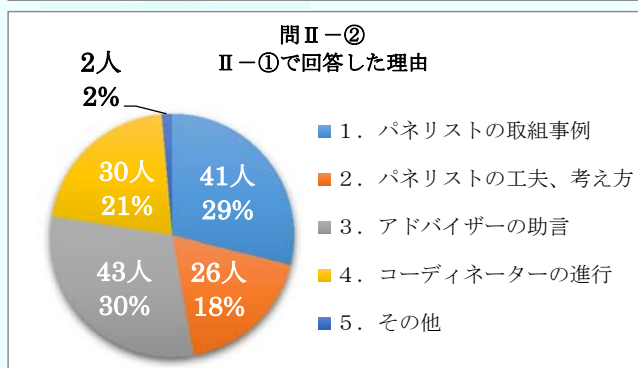
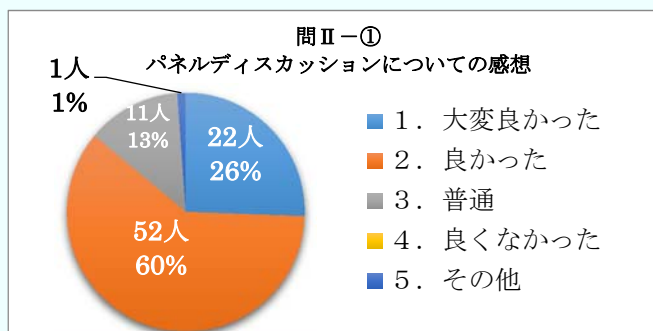
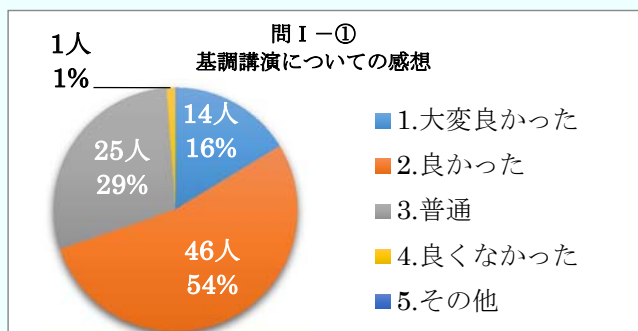
高畑 良雄 氏（会津坂下町主幹兼上下水道班長）

近藤 徳夫 氏（棚倉町上下水道課長）

<アドバイザー> 豆谷 竜太郎 氏



### 【アンケート結果】 88名/150枚配布（回答率58.6%）





## 設立 30 周年記念フォーラムを終えて

県北浄化センター次長 佐藤 元 (チームリーダー)

昨年 11 月 19 日 (月)、福島グリーンパレスにおいて開催しました福島県下水道公社設立 30 周年記念フォーラム」に多数ご来場いただき誠にありがとうございました。当日、ご協力いただきましたアンケートの結果を見て、「良かった」、「参考になった」等の感想のほか、当公社への激励のお言葉などもたくさんいただき、大変嬉しく思っています。

このフォーラムを開催するに至るまで、一昨年の平成 29 年 5 月に 30 周年記念事業プロジェクトチームを編成し、約 1 年 6 ヶ月の準備期間を経て開催を迎えたところでありますが、プロジェクトのチームリーダーを任された時のことは今でも記憶に新しく、不安でいっぱいだったことを思い出します。



司会者との打合せ

今回、記念事業を開催できたことは大変喜ばしいことではありますが、本プロジェクトを進めるにあたり苦労した部分が幾つかありました。一つは、設立 10 周年以来の記念式典開催であったため、当時の実務をしていた方が退職されて何も分からなかったこと、前回は 20 年前ということもあり、参考資料は紙ベースで、PC データもほとんど無かったため、当時の記念誌を参考として、直近で記念式典を開催した他県公社に依頼をして情報を収集することから始まりました。中には、直接訪問して詳細についてご教示いただいた公社もあり、大変お世話になりました。加えて、チーム内で有意義な内容とするため議論を重ねたところ、講演の他に公社では経験の少ない“パネルディスカッション”を実施すると決定したことが、私には更なる試練となりました。会場選定や連絡調整、資料作成など数多くの業務がありましたが、特にパネルディスカッションの準備は、コーディネーター及びパネリストの選定や連絡調整は勿論のこと、来場者に下水道の課題を理解してもらう、臨場感や出演者の熱量を感じてもらうための工夫が一番慎重となったところです。

また、万全の体制で当日を迎えるべく、当日の進行要領やスタッフ説明資料は熟慮のうえ時間を掛けて作成しましたが、直前まで修正や変更が出てしまい、スタッフには不安を抱えたまま当日を迎えてしまったこと、申し訳なくしております。

開催当日、特に心がけたことは誘導案内、受付対応などで、来場される来賓及び招待者の方々に最初から最後まで気持ちよくお帰りいただくことが目標でしたが、スタッフの協力もあり、招待者から「応対が素晴らしい」との嬉しいお言葉をいただくことができました。また、フォーラム終了後、市町村関係者や公社 OB の方々とお話した際、労いの言葉や感想をいただいた時は安堵感を覚え、無事終了できたことに感謝の気持ちでいっぱいでした。この担当者として得た経験、喜びとして味わった達成感は、次回の記念式典担当者へ“教訓”という形で引き継いでいきたいと思えます。

最後に、設立 30 周年を迎え、このようなフォーラムを盛大且つ無事に終えることができましたのも日頃よりご支援をいただいております県、市町村、住民の皆様あってのことと深く感じております。また、今回、ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

## 下水道ポスターコンクール応募作品数及び入賞者作品カレンダー

平成30年度下水道ポスターコンクールに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。今回の応募作品数は以下のとおりです。平成31年度も多数のご応募をお待ちしています。

なお、入賞作品はカレンダーとして配布しております。

※入賞作品カレンダーは、ホームページに掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

	応募校数	応募作品数	流域関連市町村
県北浄化センター	24校	298作品	福島市・伊達市・桑折町・国見町
県中浄化センター	30校	231作品	郡山市・白河市・須賀川市・本宮市・鏡石町・西郷村・矢吹町
あだたら清流センター	11校	53作品	二本松市
大滝根水環境センター	12校	143作品	田村市
計	77校	725作品	8市4町1村



## 平成30年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

本年度の「下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」は、平成30年11月4日(日)に『日本大学工学部』において実施しました。試験結果については、平成30年12月3日(月)に合格通知を合格者へ送付するとともに、公社のホームページに合格者の受験番号を掲載しております。

また、合格者には合格証とともに、「責任技術者登録申請書(新規)」を送付し、登録を希望する方には公社への申請が必要であることをお知らせしました。なお、新規登録者への技術者証は、3月7日に送付しました。

【平成30年度試験結果】※( )内は平成29年度結果

会場	月日	受験者数	合格者数	合格率
日本大学工学部	11月4日	250名 (229名)	111名 (68名)	44.4% (29.7%)

## 調査研究発表会(社内)を行いました

当公社では、下水道施設の計画・設計、管理運営等において発生する様々な技術的課題に対し、調査・研究を公社設立当初(昭和63年度)より実施しています。

本年度は、以下の内容について調査・研究を行い、その成果を報告する調査研究発表会(社内)を平成31年2月1日に開催しました。

### 【調査研究内容】

- ・汎用 ICT 機器の維持管理業務への導入検証(その2)
- ・仮設汚泥貯留槽運用に係る脱水汚泥の放射能濃度調査



今後、調査内容を報告書にまとめ、関係機関へ配布するとともにホームページで公開する予定です。

なお、「汎用 ICT 機器の維持管理業務への導入検証(その2)」は、広く発表すべき調査研究内容であると判断し、8月に横浜市で行われる下水道研究発表会((公社)日本下水道協会主催)において発表する予定です。

## 下水道研究発表会を終えて（そして次のステップへ！！）

業務部計画設計課 課長補佐 伊丹 忠夫 いたみ ただお

平成30年7月25日に北九州市で開催された第55回下水道研究発表会において『下水道公社による市町村支援の進め方』と題し口頭発表を行いました。

今回の発表は、下水道事業が建設から維持管理へ大きく変化したことで、新たな課題に直面し、今後の下水道運営がさらに厳しさを増すことが予測される市町村に対し、当公社が流域下水道の維持管理で蓄積した技術力をどのように活用することができるか、下水道施設維持管理支援の進め方の検討を行った結果と具体的取り組みについて発表を行いました。

当日までパワーポイントの作成・編集と発表練習に多くの時間を費やし、万全の体制で本番に挑んだつもりでしたが、大人数の前での発表と小心者の緊張から発表10分間の記憶があまりありませんでした。しかし、練習の成果でしょうか、最後まで無事に発表を終えることができ、聴講いただいた皆様には内容をご理解いただけたのではないかと感じています。（自己満足です）

今日、下水道事業の持続的経営に向けた新たな取り組みが必要とされていることは全国共通ですが、その対応については中小規模の市町村ほど厳しい状態にあります。

今回の発表では、約1週間前に「水道産業新聞が注目する発表」の一つとして新聞掲載（H30.7.19 下水道展特集第3部）されるなど、市町村における下水道事業の経営改善に向けた取り組みへの関心の高さがうかがえました。

現在、当公社では本発表での調査成果を基盤とし、市町村支援の強化を進めています。これからは、新たな連携（枠組み）や取り組みが必要であり、市町村・県の皆様との連携を強めていきたいと考えています。

これまで不合理とされてきたことが解決策となることも考えられます。何事も、最後は本人のやる気と、一歩足を踏み出す勇気ではないでしょうか。

最後に、今回の発表に先立ち調査等にご協力いただきました市町村の皆様には深く感謝申し上げます。これからも、当公社の運営に際しまして、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、平成30年11月27日に郡山市上下水道局で開催されました「平成30年度 実務担当者研修会」においても同内容で発表させていただきました。併せて御礼申し上げます。ありがとうございました。



小倉駅（北九州市）周辺のデザインマンホール



平成30年度実務担当者研修会

### 公益財団法人 福島県下水道公社

〒960-8041 福島市大町5番6号 日本生命福島ビル2F

TEL 024-524-3510(代) FAX 024-524-3513

Homepage:<http://www.fspc.or.jp>

E-mail:[somu@fspc.or.jp](mailto:somu@fspc.or.jp)



しずくちゃん



すいてきくん

※本誌のお問い合わせについては、総務部総務課までお願いします。

※下水道公社だよりのバックナンバーは、ホームページよりご覧いただけます。